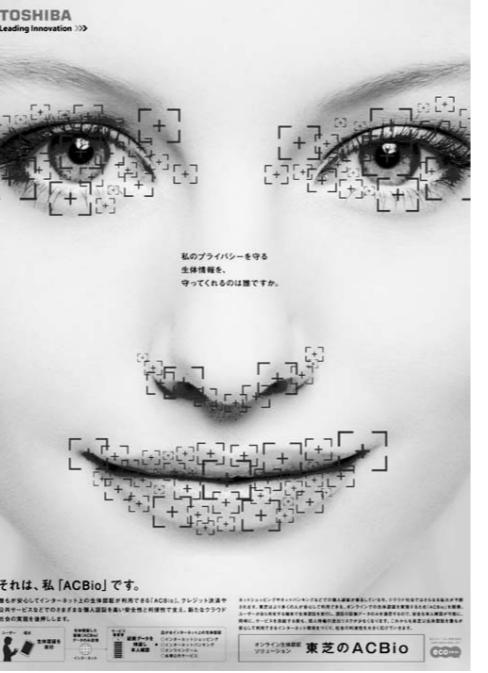
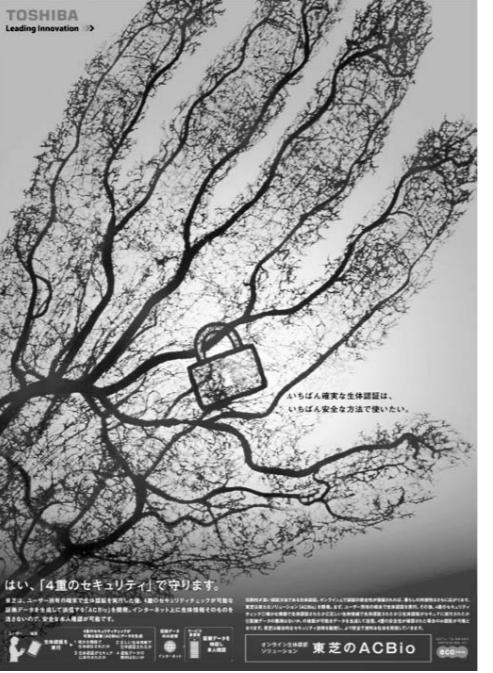
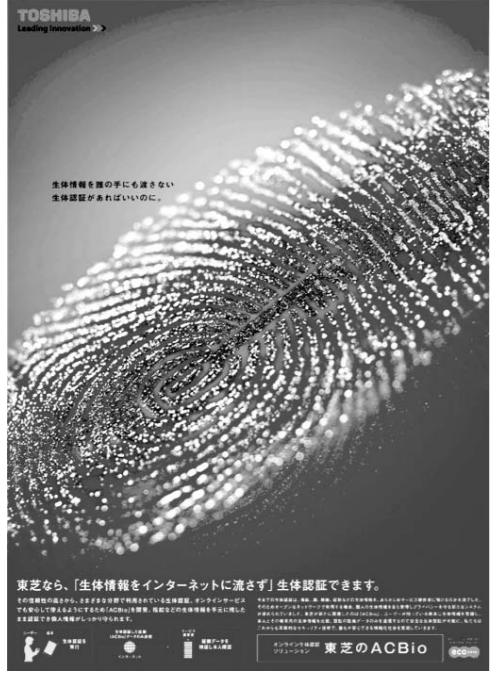


2013年日本産業広告賞入賞作品

日本産業広告賞は、日刊工業新聞社が産業広告の健全な発展と質的向上を図る目的で1966年に制定したもので、今年で48回目を迎えた。今回の応募作品は新聞部門が67件110作品、雑誌部門が14件14作品、情報誌部門が9件9作品。

9月26日に嶋村和恵早稲田大学教授を委員長とする審査委員会が開かれ、産業広告としての明確なコンセプト、訴求力、アイデア、デザイン、コピーなどについて総合的に審査し、各部門の入賞作品を選定した。

日刊工業新聞広告大賞



新聞部門 シリーズ第1部 第1席 東芝
掲載日9月18日他/スペース 全15段×3

この作品は、同社の安全性の高い生体認証技術について、生体認証に使われる目（瞳孔）、手の毛細血管、指紋を鮮やかなブルーで描き出している。派手な色を使っているわけでもなく、また人間の生体的な部分を生き生きとすることなく、まるで芸術作

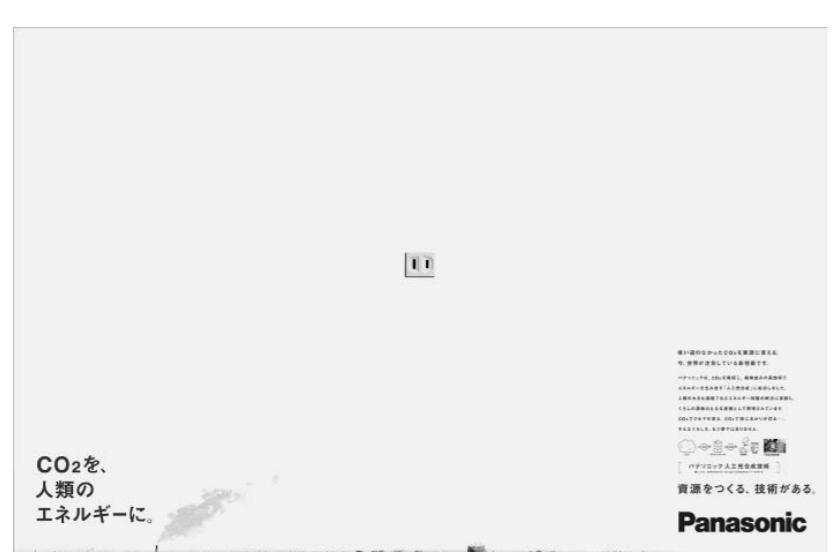
品のようにみせるビジュアル表現は大変質が高い。インパクトが強く、自然と吸い寄せられてしまうような作品はそう多いわけではない。日刊工業新聞広告大賞にも選出されたが、産業広告のレベルの高さを実感させる作品だ。

新聞部門



第1席 三菱電機
掲載日9月20日/スペース 全30段

全面に展開するリズミカルで硬質の幾何学模様、パックとは対照的に中央には魅力的な女性の横顔。無機質と有機質の意外な組み合わせは色彩を放つ印象深い、色は極力抑え困難な金属板の質感も紙上に見事に再現。精巧なイラストレーションに見えたビジュアルが、実はレーザー切断技術が金属板に描き出した作品であることに驚異の目を見張る。なによりも目を引く女性の一本一本の曲線のショートカット。加工時間もショートカット。精度も高い先端技術一枚の秀作で訴求、説得。天才先端アーティストの力量が高く評価されることになる。



第2席 パナソニック
掲載日3月28日/スペース 全30段

真っ白な大画面が飛び込んできて頭が真っ白になり衝撃が走る。人間が排出をつづけるCO₂は地球温暖化の張本人、その悪玉の代名詞でもあるCO₂を善玉に隣らせるという技術は、地球の抱える大きな悩みの解消にこの上もない福音。画面下から絶え間なく排出される煙は上空を覆つて全面灰色になるはずが見事にクリーンな空気に中央のコンセントはCO₂がエネルギーの貴重な資源に生まれ変わった象徴としてシンプルで明確。人類の大きな課題に真剣に取り組む企業の強い思いが大胆な衝撃の広告に結実した。



第3席 東芝
掲載日9月12日/スペース 全30段

地球は空気で覆われている。求心力のあるスケールの大きなビジュアルは地球の抱えている共通の深刻な悩みに注目することになる。越境大気汚染が始まり、平均気温の上昇による地球温暖化、高温障害の被害、異常気象と地球には困った存在もある空気中の中を有効利用するという想像を超えた技術で、ビルや工場の空調、寒冷地での道路融雪、省エネ、CO₂削減など、地球温暖化防止に大きく貢献する東芝のヒートポンプ技術の知恵は、国境を越えて地球を守る使命を担うこと

2013年日本産業広告賞を審査して



第48回日本産業広告賞審査委員会は、9月26日に開催された。新聞広告の八つの部門に加えて、の広告と同じページに掲載されるものであるが、雑誌部門、情報誌部門の合計10の部門に応募された9件のうち3件が審査の対象となった。サイズの大い新聞第1部、第2部では、印象の強い視覚表現や大胆なスペースの使い方などで目を引きながら、新しい技術や製品などを伝えるものが

紙面にメリハリをつけた

読者の目を引くパワーが

あり、企業の堅実な仕事ぶりを理解することで

生きるものといえよう。

紙面に複数の広告が出稿されただけ見ても意味があるものは多い

が、シリーズ全体を通してみたときの充実感が醸す味である。

新聞広告のカラー印刷技術はますます進歩して

おり、凝視に堪える美しい広告が多くなっている。その一方で、新聞本

来のモノクローム印刷を

活用したモノクローム広

告部門の表現技術も捨て

がない魅力がある。カラ

ーを使わないでも読者の

目を引きつける表現が可

能ということがよくわか

る。

産業広告のテーマは、

環境問題への対応、防災・減災対策、エネルギー

女性の顔が一面に描かれて

ばかりである。論理的な

明快さと感性への訴求が

組み合わされた産業広告

を知ることのできるもの

ばかりである。理論的な

出されているが、個人情

報が厳密に守られている

ことを血管にかかる南

きたのは三菱電機のF

シリーズ第1部第1席とな

ったのは三菱電機のエレベーター

の「最先端のショートカット」

は、運転技術の広告であ

る。最新ヘアスタイル

の紙面を黒紫、黒と大

きに縦三分割したモ

カタログの1ページかと

見まがう女性の横顔と動

く見ると指紋の一部は健

きのある髪のラインが

形をしている。ACB

の広告は、シリ

ーの第1部第1席であ

り、本年の日刊工業新聞

広告大賞にも選ばれた。

3枚シリーズの初日には

「最先端のショートカットです。」

というへた。エレベーターのロ

フトであります。このへ

たふれる広告である。

新聞第3部第1席は、

おおかしなことになって

めている。

新聞生活産業広告賞第

1席は、富士通工フサス

の「エレベーター

のエレベーター

の実用化が待たれる

。三木ブーリーの広告

ツドライインは加工時間を

最短にするという意味も

ある。今社会が求め

る、インターネット社会におけるセキュリ

ティなど、現代社会が

ついている。2日目は手

のひらのX線写真で静脈

注入された。新聞第

3部第4部はサイズの

点からいえば記事や他社

の広告と同じページに掲

載されるものであるが、

紙面にメリハリをつけて

読者の目を引くパワーが

あり、企業の堅実な仕事

ぶりを理解することで

生きるものといえよう。

紙面にメリハリをつけて

読者の目を引くパワーが

あり、企業の堅実な仕事

ぶりを理解することで

生きるものといえよう。